牧山ひろえサポーターになりませんか?

牧山ひろえの活動を支え、ともに行動する（党員・サポーター）を募集しています。

・党員:18歳以上の日本国民の方
・サポーター:18歳以上の方
・党員は民主党の運営や活動、政策づくりに参加することができます。
・党員・サポーターで日本国民の方は任期満了の民主党代表選挙で投票することができます。

2014年度の会費として、
党　費　6000円
サポーター費　2000円 有効期限は1年間です

お振込先　りそな銀行　参議院支店　普通　0009947
民主党神奈川県参議院選挙区第4総支部　代表　牧山弘恵

ご希望の方は、お電話もしくは下記フォームからお申込みください！

※党員の権利や活動は、民主党規約や組織規則・倫理規則で定められており、それ以外の義務やノルマ等はありません。

牧山ひろえサポーターになるとイベント盛り沢山！

♪ 関内駅前や桜木町駅前、溝の口駅などでの「国政報告街頭演説会」
♪議員会館での「永田町政策勉強会」♪原発事故の収束に向けての院内集会
♪カレーランチタウンミーティング ♪ティーブレイクタウンミーティング（国政を語るお茶会）等々
などなど、たくさんのイベントを企画しています。
＊詳しい日程は随時後援会ニュースに掲載しております。

日々の活動をアップしています

facebook⇒ hiroe.makiyama

twitter⇒ makiyama1192

★★★大好評配信中！★★★
メールマガジン&FAX ニュース

定期的に、国会・地元の活動やイベント情報などを報告させて頂きます（選挙時も含め）ので、是非下記フォームにて、お申込み下さい。

国会見学しませんか？

研修や親睦にご活用ください。
入場料などはありません。
少人数でも見学可能です。

ご希望の方は、お電話もしくは下記フォームからお申込みください！

「国民総政治家~税金の使い道はあなたが決める。~」好評発売中！

低投票率が改善されない今日、いかに政治と市民の距離を縮めていくか、ということは今後の日本の行く末を左右する重要な課題です。
本書では、税金の使い道を国民一人ひとりが決めていくという提案も含め、牧山ひろえが訴え続けた、国民の政治参加意識を高めるための政策が詰まった一冊です。

定価 本体1200円（税別）

タテ看板設置、ポスター掲示のご協力募集中！

ご自宅、お勤め先の外壁、フェンス、駐車場等へのポスターの設置ご協力いただける方を募集しています！お電話もしくは下記フォームからお知らせください！

キリトリ ※あらかじめこの点線で切り離した上で、FAXをご活用ください。

牧山ひろえを応援してください。

□の中に「レ」をご記入下さい。⇒ □『牧山ひろえサポーター』に登録する □『牧山ひろえ党員』に登録する
□メールマガジン&FAX ニュース登録 □国会見学希望 □タテ看板・ポスター □牧山ひろえを応援します！

（フリガナ）
ご氏名

一言メッセージ

ご住所　〒　　ー

電話

FAX　　E−mail　　@

FAX 返信先　045-226-2389

お問い合わせ　横浜事務所
TEL：045-226-2393

参議院議員(神奈川県選出)

牧山（まきやま）ひろえ

シンボルのオリーブ色
平和と環境を守るというメッセージを込めています。

民主 PRESS MINSHU
号 プレス民主編集部
〒100-0014
千代田区永田町 1-11-1
外電話 03-3595-9988（代）
本紙通常号定価 1 部 100 円（消費税込み）年間購読料 3,000 円（送料含む）

牧山ひろえの自己紹介です。

米国弁護士、元 TBS ディレクター
国際基督教大及び米国トーマス・クーリー法科大学院卒、参議院議員(２期)
二児の母 として、国会や地元、国際会議にて元気に活動中！

◆趣味：スポーツ（ジョギング・水泳)、カラオケ
◆資格その他：教育職員免許、不動産セールス免許（米国)、ホノルルマラソン完走
◆現職：民主党ネクスト内閣府特命担当副大臣（防災）神奈川県連副代表、横浜市総支部協議会会長
その他、民主党参議院副幹事長、厚生労働委員会理事、財政金融委員会委員等を歴任
●所属委員会：**予算委員会、外交防衛委員会、災害対策特別委員会（理事）**

牧山ひろえ　政策トピック

■予算案の反対討論で本会議登壇
～安倍内閣は『国会パッシング・国民パッシング』
■質問登壇や主意書など、トップクラスの国会政策活動量
■永田町だけでなく、全国各地を飛び回る！
■国家戦略港湾政策を推進
■「かな女」で女性視点の政策を推進

♪詳細は、見開きページをご覧下さい。

限られた予算の中で賢く命を守っていく。

大きな自然災害が続発しています。防災・減災は言うまでもなく重要です。ですが、以前から申し上げ続けている通り、「将来世代への負担先送り」をこれ以上増やしてはなりません。国土強靭化政策を与党が推進していますが、防災・減災がイコール公共事業というのでは、時間も費用も無限に必要となってしまいます。財政が困難な今、まずは知恵を使い、ソフト面での対策も重視し、かつ全体最適を考慮した優先順位付けにより、対策は行われるべきなのです。今必要なのは「いかに限られた予算の中で賢く命を守っていくか」という視点だと強く思います。

キャロライン・ケネディ米大使と

http://www.makiyama-hiroe.jp/